

## 研究結果

当財団の助成をいただいた後、早速『百人一首』に関する資料を補足し、翻訳・研究に取り組んだ。

鈴木日出男、山口慎一、依田泰、吉海直人、白州正子、三木幸信等の文献を主に、さらに英語のF. Vdickins やH. H. Hondaの文献を加え、それらを参考にしながら、各歌の内容、語句の意味、鑑賞の仕方などを調査し、理解した上で、ベトナム語に表現した。

特にそれぞれの歌人に関しては、できるだけ多くの情報が得られるように日本人名辞典、文学事典等からも歌人と歌との関連情報を補い、それぞれの歌人が和歌史の中でどのように位置づけられているかと云うことに重点を置いて編集作業を行った。

幾つかの試行錯誤の後、ベトナム語に翻訳した各歌と本書の構成の形が出来てきた。

本書の構成は大きく二部に分け、第一部では『百人一首』の簡略的な内容を紹介し、第二部では100歌を紹介した。

歌の構成はそれぞれ9項目に分けて作成し、それらの項目は更に2つの大きな枠組みに配置した。

第一の枠には次の5項目が含まれる。

- (1) 日本語の歌：現代日本語に記述された日本語の歌
- (2) 歌人の呼称
- (3) ベトナム語に翻訳された詩
- (4) ベトナム語風の歌人の呼称
- (5) 歌の内容

これらの項目は、一般の人に日本の和歌を紹介するためには重要なものとみなし、太枠の中に入れた。

第二枠には次の4項目が含まれる。

- (6) 語句：歌に出た語、句をベトナム語に翻訳し紹介した。
- (7) 歌人に関する情報を簡潔に紹介する
- (8) 補足情報：歌ごとにはどのような場合に読まれ、どのような技法が使用され、どのように鑑賞されているか等の情報を補足した。
- (9) 出典：その歌は10の勅撰集の内、どの歌集に所載されているかを示した。

これらの内容は、日本語学習者や和歌を研究する人にとって必要不可欠な情報となっている。

当書は A5サイズの約260ページで出版する予定である。既にベトナムの「作家協会出版社」に原稿を提出し、現在、出版手続きを取っている。

### 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

－『百人一首』における歌人への呼称を通して日本語の待遇表現を考察する－  
『東南アジアにおける第二回日本研究会国際シンポジウム』  
2009年10月22－23日 於：ベトナム社会科学研究所

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

上記のシンポジウムで発表した論文が、追って当シンポジウムの論文集に掲載される。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

ベトナム語版『百人一首』

ベトナム語：Vuon hoa tram huong sac (意味：100首から日本の和歌の色彩)